

金沢大学 理工研究域 物質化学系 教員公募

1. 公募人員：テニユア・トラック助教 1名
2. 所 属：理工研究域 物質化学系 <https://www.se.kanazawa-u.ac.jp/chemistry/>
3. 専門分野：錯体化学，超分子化学，構造有機化学のいずれかの分野で研究活動できる方。
着任後は，研究グループ「超分子・機能性マテリアル化学」に所属し，化学コース錯体化学研究室の研究分野担当者（秋根茂久教授，古舘英樹准教授）と協力して，新規機能性金属錯体あるいは超分子の開発研究を推進して頂きます。
4. 教育担当：理工学域物質化学類，大学院自然科学研究科博士前期課程物質化学専攻
5. 担当科目：学類および大学院の専門分野の実験・演習・研究指導等と共通教育科目および専門基礎科目など。
6. 勤務形態：テニユア・トラック助教（常勤，任期5年）
テニユア付与の可否については，任期満了前の所定の時期に研究・教育実績に関する学内審査を行います。学内審査の結果に応じて，任期満了後に，テニユア准教授への昇任又はテニユア助教への移行が可能です。
テニユア審査において，テニユア・トラック期間を延長することが認められた場合（最長3年間）は，延長後の期間の最終年次に再度審査を実施します。
本学テニユア・トラック制度の規定については，下記 URL をご覧ください。
<https://www.se.kanazawa-u.ac.jp/wp-content/uploads/2022/12/tenure.pdf>
※テニユア付与基準の概略
 - (1) 国内外で，分野における研究成果が特に優れていると認められること
 - (2) 適正に計画された研究計画が達成されていること
 - (3) 十分な競争的研究資金を獲得していることなど
 - (4) 学生に対する教育成果（研究指導および講義内容）が優れていると認められること
7. 待 遇：研究経費として初年度 80 万円程度を措置する予定
8. 給 与：年俸制が適用されます。
9. 応募資格：着任時に博士の学位を有する研究者。
研究，教育に熱意を有し，産学連携等への積極性があること。
日本語と英語による十分なコミュニケーション能力を備えていること。
10. 着任時期：2025 年 5 月 1 日以降のできる限り早い時期
11. 応募書類：
 - (1) 履歴書（写真貼付，電子メールアドレス，学位論文題目も記入のこと）
 - (2) 研究業績目録（査読付き原著論文，著書，総説・解説，国際会議録，特許，その他に分類）
 - (3) 主要論文 5 編以内の別刷（コピー可）
 - (4) これまでの研究概要（2000 字程度）

- (5) 今後の研究計画と教育に対する抱負（2000字程度）
- (6) 研究代表者として獲得した外部資金（科研費、学振 DC1, DC2 など）、受賞および招待講演などの特記事項、国際学会発表のリスト
- (7) 推薦書 1 通（理工研究域物質化学系長宛）または照会可能な方 2 名の氏名・所属・連絡先

応募に関する個人情報は、本件の選考以外の目的には一切使用しません。

12. 応募締切：2025年1月6日（月）必着

13. 選考方法： 第一次審査：書類審査

第二次審査：面接（プレゼンテーション、英語での発表等）

（面接のための旅費支給はありません）

14. 書類提出先：〒920-1192 金沢市角間町

金沢大学 理工研究域 物質化学系長 片岡邦重 教授

15. 問合せ先：〒920-1192 金沢市角間町

金沢大学 理工研究域 物質化学系 化学コース長 佐藤 渉 教授

Tel : 076-264-5689, E-mail : wsato@se.kanazawa-u.ac.jp

16. その他：

(1) 応募書類は、封筒表面に「化学コース教員公募書類」と朱書きの上、簡易書留にて郵送してください。応募書類は原則として返却しません。なお、応募に関する個人情報は、本件の選考以外の目的には一切使用しません。

(2) 就業規則等については、下記の URL をご覧ください。

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/administration/regulation/rules>

(3) 金沢大学では、教員の英語による教授能力の向上と、英語による開講科目の増設等を前提とした英語教育に取り組んでいます。詳しくは下記URLをご覧ください。

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/sгу/kusgu/project.html>

(4) 金沢大学ではダイバーシティ研究教育環境を推進しています。詳しくは下記 URL をご覧ください。

<https://ipdi.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

(5) 男女共同参画社会基本法の趣旨に則り、理工研究域では女性研究者の積極的な応募を歓迎します。